



まるくり

インフォメーション

人間ドック・健康診断施設



子宮頸がん検査 と HPV検査 の 併用検査をおすすめします

子宮頸がんは、**ハイリスク型HPV(ヒト・パピローマ・ウイルス)**と呼ばれる、ごくありふれたウイルスの持続感染によって引き起こされます。**HPV検査**とは、このハイリスク型HPVに感染しているかどうかを調べる検査で、従来の細胞診検査と併用することで、異常発見率はほぼ100%まで上がります。

細胞診検査 ⊕ HPV検査

前がん病変の発見率

98~100%

公益社団法人日本産婦人科医会「子宮頸がん検診リコメンデーションとHPVワクチンの普及に向けて」(2013年)



何を調べる検査なの？

ハイリスク型HPVの感染を調べます

ハイリスク型HPVって何？

子宮頸がんの原因とされるウイルスです

検査をするメリットは何？

がんの見落としがほぼなくなります

HPV検査は、細胞診検査と同一検体で実施が可能です。
検査の追加を希望される方は受付でお申し込みください。

追加検査
料金 **4,000円** (税別)

お申し込み
お問い合わせ先

医療法人 溪仁会
溪仁会円山クリニック
〒064-0820 札幌市中央区大通西26丁目3-16
健診実施日：火曜日～土曜日(日曜日・月曜日休診)

TEL (011)611-7766 FAX (011)611-7539
E-mail clinic@kejinkai.or.jp
HP https://www.kejinkai.com/maruyama/



環境に優しい植物油インキを
使用しています。

サラネット

サラネット 2020 秋号
発行所/医療法人 溪仁会 法人本部

「サラネット」への
ご意見やご要望、ご感想
などを送るまでください。

https://www.kejinkai.com
〒006-0811 札幌市手稲区前田1条12丁目2番30号 溪仁会ビル3F 医療法人 溪仁会「サラネット読者」係
TEL (011)699-7500 FAX (011)699-7501

溪仁会グループ

溪仁会グループの“いま”をお届けする、医療・保健・福祉のフリーペーパー

サラネット

2020
秋



特集

札幌西円山病院は 『多機能慢性期病院』へ

地域の方々の在宅生活をサポート

溪仁会グループ

特集

02 札幌西円山病院は『多機能慢性期病院』へ 地域の方々の在宅生活をサポート

07 溪辞苑

これがわたしの愛用品
社会福祉法人溪仁会 理事長 谷内 好

08 キラビト

「お子さんの気持ちに寄り添いながら、働く親御さんの力になりたい」
手稲溪仁会病院 院内保育所 保育士 主任 後藤 里絵

09 元気のもと

カームヒル西円山 施設ケア部 介護課 副主任 藤好 幸栄

歩活のススメ

月寒あさがおの郷 生活相談課 課長代理 山玉 俊宇

10 SALAかんたん体操

「むくみ解消体操」
溪仁会円山クリニック 運動指導科 健康運動指導士 鈴木 雄人

11 医学ひとくち講座

「腹壁癒痕ヘルニアについて」
手稲溪仁会病院 外科 主任医長 今村 清隆

13 栄養士さんのひとSALA

「フライパンひとつでつくる! きのこのカレーピラフ」
札幌西円山病院 栄養科 管理栄養士 高橋 志保

14 教えて!○○さん

「有料老人ホームの種類」
定山溪病院 地域連携室 医療ソーシャルワーカー 佐藤 洋

15 見たい!知りたいたい!サラビト

「もっと深掘り!定山溪病院での療養」

16 TopiKs

19 手稲溪仁会病院 提携医療機関のご紹介

あすかぜ内科循環器クリニック 院長 渡邊 俊明 医師

20 溪仁会グループの社会的使命・事業理念

溪仁会グループ ラジオ放送のお知らせ

21 施設一覧

23 まるくりインフォメーション

「子宮頸がん検査とHPV検査の併用検査をおすすめします」

特集

札幌西円山病院は『多機能慢性期病院』へ

地域の方々の在宅生活をサポート



1979年、札幌・中央区円山に開院し、溪仁会グループの基礎を築いた札幌西円山病院。高齢者を中心とする慢性期病院として長く医療を提供してきた実績をもとに、同病院は『多機能慢性期病院』として地域での在宅生活を支える取り組みをスタートさせました。その中心となるメンバーに、各専門の視点からその仕組み、目的などを聞きました。

院内の各機能を連携させて在宅を支援 「地域」に向けた病院サービスを推進

札幌西円山病院は、2020年で開院から41年目を迎えます。高齢者を中心とした慢性期病院としてスタートし、長期療養における医療サービスに関して多くの実績とノウハウを蓄積してきた病院です。直近では2018年に介護医療院「にしまるぼっけ」を開設しました。高齢者医療とケアの経験を生かしつつ10年ほど前から、急性期後の継続治療に加えて在宅から寄せられるニーズへの対応を行ってきました。

たとえば、社会の高齢化にともなって増加する生活習慣病や神経内科の病気に本格的に対応するため、2016年4月に「神経内科総合医療センター」を開設しました。また2017年10月には生活習慣病のための専門外来や入院体制を強化しました。慢性期病院の枠を超えたこうした取り組みを進めるなかで、同病院では、在宅において急性期の治療が必要なわけではないものの不調となった場合、の受け皿としての機能が期待されている、という実感を得るに至ります。

そこで、院内での議論を重ね、そうしたケースの治療、慢性疾患の病状管理、リハビリテーション、栄養管理などを通して在宅支援を行う体制を新たに設けました。各専門医が在籍する内科、神経内科、リハビリテーション科などの各科と薬剤部、栄養科などの院内の機能が連携し、在宅支援＝地域に向けた病院サービスという新たな機

能を果たすという意味から『多機能慢性期病院』という名称を付し、運用を始めています。在宅生活を支えるための入院医療・外来医療を強化していく方針です。

居宅介護を担っているケアマネジャーが、 在宅の支援を行う方々からの相談に応じる

『多機能慢性期病院』の役割の第一歩として同病院が考えているのは、在宅生活の支援を行っている専門職からのご相談に応じ、対象となる方が安心して在宅で暮らしていくために最適な方策をともに探ることです。そのために、医療ソーシャルワーカーが在籍する地域連携推進室を窓口として、居宅介護支援事業所のスタッフを兼務するケアマネジャーを在籍させています。将来的な不安についても、日頃から情報交換を行っておけば、入院が必要になった場合でも迅速に対応でき、予防的に外来で診察を行うという選択も可能になるからです。

加齢とともに発症する慢性疾患、神経難病などは完治するものではありませんが、適切なタイミングで医療的なケアを行えば、それだけ在宅で過ごす時間を伸ばせる可能性が高まります。必要な治療やリハビリテーションを行い、在宅へと戻っていただくという循環を通して地域を支える。そのチームの一員として在宅を支援する病院を目指していく同病院では、多職種が連携して、その役割を担う体制も大きな特徴といえそうです。

【サラネット】

「サラ」はイタリア語で『ホール』の意味。皆さんと一緒に健康や福祉、医療について語る集いのホールになればと考えます。

こちらからもアンケートサイトへアクセスできます



サラネット
読者アンケートが、
WEBサイトからも回答
できるようになりました

たくさんのご意見・
ご感想をお待ちしています
ので、ぜひご回答を
お願いいたします

札幌西円山病院は『多機能慢性期病院』として、在宅生活を支援する皆さん、施設の皆さんと連携していきます。

施設でケアをされている皆さんへ

こんな状況にお困りではないですか？

「圧迫骨折と診断され、安静を指示されてケアに困っている」

当病院では、脊椎椎体骨折（圧迫骨折）の診断を受け、安静を指示された入所者さんを一般病棟や回復期リハビリテーション病棟で受け入れます。入院中は、痛みをコントロールしながら、安静によるADLの低下を防ぎ、退院後は引き続き施設での生活を続けられるように支援していきます。

「摂食・嚥下の相談がしたい」

当病院では、高齢者に多い「摂食・嚥下障害（食べる・飲み込む障害）」を抱える方の診察・評価、検査や指導（飲み込み・栄養等）を行う外来を開設しています。安全においしく食べ続けられるように、さまざまな職種で関わります（毎週火曜日／完全予約制）。



- 対象者**
- 飲み込みにくいと感じる方
 - よくむせる方
 - 食事に時間がかかるようになり、体重減少が進んでいる方
 - 胃ろうの造設で迷っており、セカンドオピニオンを受けたい方

上記のような気になる症状がありましたら、お気軽にお問い合わせください。
※外来受診後、治療が必要な方には、入院いただき治療をお勧めする場合がございます。

同じスタンスで在宅生活をサポートする

私は、当病院の居宅介護事業所のケアマネジャーを兼務しています。在宅の視点で見ると、適切な医療ケアやリハビリを行えば、もう少し在宅生活を続けられるのに……というケースが多いことを実感しますし、そのような悩みに応えていければと考えています。高齢になると複合的な慢性疾患を抱えている方も多く、たとえば圧迫骨折があり、かつ認知症という方でも、当病院では慢性期医療に関わってきた経験から適切なケアが可能です。地域で生活している方をサポートするというスタンスは、在宅生活の支援を行っている方々と同じだと考えていますし、それぞれの立場で役割を果たすことで、初めてその方が安心して地域で暮らせるのだと思っています。

札幌西円山病院
地域連携推進室
医療ソーシャルワーカー

かとう さやか
加藤 彩芳



地域で在宅生活を支援する皆さんへ

「救急車を呼ぶまでもないけれど、このままだと自宅で生活するのは難しそう…」とお悩みの場合、まずはご相談ください。

たとえば



- 以前は歩けたのに歩けない、動けない、起き上がれない。
- 脊椎椎体骨折（圧迫骨折）の診断があり、自宅安静を指示され在宅生活がままならない。
- 食事の時にむせやすく、飲み込みにくくなった。食べる量が少なくなり体重が減少した。

こんな状況でお困りではないですか？

- 症状不安定で介護保険サービスを活用できず、介護者も不在で困っている。
- 他の症状で診てもらいたいのにも、認知症だから対応が難しいと言われた。
- 何らかの治療を望んでいるわけではないが、在宅生活が難しくなってきた。
- 入院してリハビリを受けたいけれど、どこに相談すれば良いかわからない。

安心して生活できるための力になりたい

医療ソーシャルワーカーが所属し、地域の方々と長くやりとりしてきた地域連携推進室が『多機能慢性期病院』としての相談窓口を担当しています。在宅生活をされている方々を受け入れるにあたっては、医療的な対応を探るアセスメントが重要となるため、院内の多職種連携をスムーズに進める調整役としても力を尽くして参ります。当病院での対応が難しい場合でも、たとえば別の病院と結びつけることで、その方の在宅での暮らしを支援できればと考えています。また入院のご相談をいただくことのみならず、安心して退院ができるよう医療ソーシャルワーカーが支援をいたします。院内外との連携を密にとり、在宅生活する皆さんと支援する事業所の皆さんとともに考え、力になれるよう努力して参りますので、まずはどんなことでもご相談ください。

札幌西円山病院
地域連携推進室 副室長
医療ソーシャルワーカー

すずき もとゆき
鈴木 基之



入院について Q&A

- お迎えはきてくれますか？→入院時には札幌市内であれば、どこにでもお迎えに参ります。
- 相談はどうしたらよいですか？→診療情報提供書とADLがわかるものをご用意いただき、**地域連携推進室(011-642-5800)**までご相談ください。
- 土、日、祝日・夜間は入院できますか？→土、日、祝日や夜間の入院受け入れは行っていません。退院は土、日、祝日も可能です。
- 即日でも入院できますか？→ベッドの調整や時間帯によってご希望に添えない場合がございます。まずは地域連携推進室までご相談ください。
- 入院期間はどれくらいですか？→その方の状態によりませんが、ご希望がある場合は事前にご相談ください。

看護の視点で退院後のフォローを行い、在宅療養を支えています。

『多機能慢性期病院』としての役割を果たすためには、退院後のフォローも重要になると考えています。体調がすぐれないけれど、どこに相談したら良いかわからないといったケースに対し、看護師が訪問して状態を知ることにより、必要な処置を考えることができるからです。また看護師が出向くだけでなく、在宅生活の支援を行う方々との連携を強化するなかで、在宅療養を支えていくことが必要だと思っています。そのうえで、たとえば調子が悪くなったら一時的に入院して身体症状を安定させる`時々入院、ほぼ在宅、という流れを当たり前にしていくことが理想です。長く高齢者のケアに携わってきた強みを活かして、地域の方々との関わりを深めていきたいと考えています。



札幌西円山病院
看護介護部 部長
認定看護管理者

なみ おか
浪岡 まさみ

退院後、1週間以内にリハビリをスタート。回復期リハビリの状態を保つ。

急性期後の患者さんが、入院療養を経て在宅生活へとソフトランディングできるよう、訪問リハビリテーションの対応を開始しました。在宅での生活を支えるケアマネジャーさんなどと予め打ち合わせを行い、退院後1週間以内にリハビリをスタートさせることで、回復期リハビリからの状態を在宅で維持することができます。一方、在宅で暮らしている方々は、調子が悪くても原因がわからず、徐々に身体機能が低下するというケースが少なくありません。そのため、まずは当病院の外来で早期に診断・介入させていただける流れをつくるのが『多機能慢性期病院』としての入り口だと思っています。無料のリハビリ健診も行っていますので、気軽にお越しいただければと思います。生きがいや楽しみを感じながら在宅で療養できるよう、日常生活動作を高めるリハビリを継続してご提供して参ります。



札幌西円山病院
リハビリテーション部
部長

いとう たかし
伊藤 隆



札幌西円山病院 地域連携推進室

お問い合わせ

〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7-25
TEL 011-642-5800 FAX 011-642-5801
https://www.kejinkai.com/nishimaruyama/
● 受付時間 8:45~17:15(月~金)





地域の方々の在宅生活を支える病院へ。
生活習慣病や摂食・嚥下の外来も設置、

リハビリ機能を備えた慢性期病院として
40年間にわたって地域のニーズに応える

札幌西円山病院は1979年に開院し、2019年に40周年を迎えました。開院当時は高齢化社会へと向かう一方で核家族化が進み、また高齢者施設の整備も十分ではないなか、療養の場所といえば病院にほぼ限られていました。

当病院ではその役割にリハビリテーション機能を加えた慢性期病院として地域のニーズに応えてきましたが、その後、老人保健法、介護保険法といった関連法が整備され、在宅での生活・療養が推進されるなか、病院の位置付けは、そのための治療や医療的ケアを行うものへと大きく変わってきました。

相談にも応じる医療公開講座を開催。
フレイル防止に無料リハビリ健診も

こうした時代の流れを先取りするとともに、長年にわたってお付き合いしてきた地域の方々への貢献を進めようと、5年前から毎月「医療公開講座」を実施し、身近な病気の話に加えて日頃の心配ごとの相談に応じています。またフレイル(P7「溪辞苑①参照」)を防ぐため、ご自分の筋肉量や骨塩定量などを知る無料のリハビリ健診も行っています。そうした活動を繰り返すなかで、外来・検診機能、病床機能をともに高め、地域の住民の方々、そして在宅生活を支える方々が利用しやすい病院へ生まれ変わる必要性を痛感し、『多機能慢性期病院』という構想が浮上しました。

神経内科のほか泌尿器科や皮膚科など
高齢者に多い疾患にも対応する体制へ

発熱がある、腰が痛い、食事中にむせるといった症状によって在宅生活に支障をきたすケースは、少なくありません。当病院では、そうした方々を診る生活習慣病・高齢者総合外来を設けたのをはじめ、2016年には神経内科外来を立ち上げました。また摂食・嚥下外来も設けているほか、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科の医師を大学などから派遣してもらい、高齢者に多い疾患に対応しています。まずは、どんなことでもお問い合わせいただければと思います。

札幌西円山病院
院長
浦 信行
うら のぶ ゆき



札幌西円山病院の歩み

HISTORY OF SAPPORO NISHIMARUYAMA HOSPITAL

- 1979/06 「西円山病院」開設
- 1997/02 療養型病床群(完全型)へ移行
- 2000/04 介護保険制度施行(介護保険病床586床、医療保険病床332床)／居宅介護支援事業所(在宅ケアセンター) 開設
- 2000/11 品質マネジメントシステム 審査登録(適用規格ISO9001:1994)
- 2000/12 回復期リハビリテーション病棟開設(6A病棟:48床)

- 2007/03 (財)日本医療機能評価機構病院機能評価(Ver.5.0)認定 ※以降、2012/06(Ver.6.0)、2017/08(3rdG:Ver1.1)にも認定
- 2007/11 院内保育所「西円山ピッコロ保育園」増築
- 2008/10 回復期リハビリテーション病棟増設(6B病棟:41床)
- 2009/11 「札幌西円山病院」へ病院名称変更
- 2014/12 認知症の方とご家族を対象とした、喫茶室「スマイルカフェ」開始

- 2015/04 「医療公開講座」開始
- 2016/04 神経内科総合医療センター開設
- 2017/10 生活習慣病・高齢者総合外来開設
- 2018/07 札幌西円山病院介護医療院(愛称:にしまるボック) 60床開院

札幌西円山病院 副院長
神経内科総合医療センター
センター長

ちば すずむ
千葉 進



心穏やかな在宅生活を支援します。
患者さんにも、ご家族にとっても

発症初期から維持期、終末期まで
シームレスに対応できる環境を整備

当病院は総病床数603床で、病棟機能別に療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、障害者施設等一般病棟を有し、介護医療院(60名定員)も併設しています。さらにCT、MRIなどの急性期病院に引けをとらない最新の診断機器を整え、多彩な患者さんのニーズに応える多機能慢性期病院としての体制を整えてきました。

機能別の病棟の配置により、たとえば長期にわたる診療を必要とする神経疾患でも、発症初期から維持期、そして終末期までシームレスに対応し、各病期に適合した加療・看護・リハビリが提供可能です。全道各地域の患者の皆さん・ご家族の皆さんにご利用いただき、当病院の存在価値を認めていただいているものと自負しています。

暮らしぶりやご家族の様子も把握し、
当病院としてできるケアを提供していく

進行性の神経変性疾患はやはり年ごとに症状は変化しますが、廃用(P7「溪辞苑②」参照)は避けられません。そのような患者さんでも毎年1カ月ほど入院して栄養管理やリハビリを行い、薬剤調整も行い在宅に戻るといった方が少なくありません。また神経疾患の多くは嚥下機能の低下により低栄養となり、リハビリの導入も困難な患者さんが他院から紹介されることもしばしばですが、当病院では栄養科との連携により、栄養管理を行うことで全身状態の改善も図られ、円滑なリハビリの導入も可能となります。細かな点についても多職種が目配りをし、患者さんのADL(P7「溪辞苑③」参照)の向上を図る。それが当病院の目指す『多機能慢性期病院』の役割だと考えます。

さらに医療ソーシャルワーカーを中心に、在宅支援に取り組むケアマネジャーと情報を共有し、患者さんの暮らしぶりやご家族の様子も把握しながら当病院ができる心のこもったケアを提供していきたいと思っています。

よりおいしい食事を提供するなど、
患者さんが前向きになれる環境を整える

ご家族の介護を伴う在宅生活のサポートという点では、介護されているご家族も疲弊しないように目を向けなければなりません。この点に関してはレスパイト入院※の活用をお勧めします。患者さんには状況に応じて期間を決めて入院していただき、疾患の再評価、合併症の検査、リハビリを行い、病態の改善を図ります。その間、ご家族はご自身のプライベートな時間(旅行に行くなど)を持つことができ、リフレッシュを図れます。患者さんの“いつも世話をかけて申し訳ない”という思いも晴れ、また再度、心穏やかに在宅生活が続けられる、そのようなお手伝いできればと職員一同、心から念じ、努力しております。患者さんもリフレッシュし、気持ちが前向きになれる環境を整え、病院自体が療養のみならず、快適な生活の場となることを目指しています。

※要介護者を対象に、医療保険で短期の入院を受け入れる制度

深仁会グループの現場でキラリと輝く職員、それが「キラビト」です。
職場を支える個性豊かなバイタリティを持つ「キラビト」たちをご紹介します。

后藤 里絵
院内保育所
保育士 主任



ごとう りえ
後藤 里絵

キラビト



いつも明るく楽しい環境づくりに励んでいます。

子育てに正解がないように、保育の仕事も然りですが、三児の母でもある私は、その経験から「お子さんに寂しい思いをさせない」ことを大切にしています。「親御さんの代わり」とまではいきませんが、きちんと話を聞くことや、抱っこなどのスキンシップをはかるように心がけています。また、挨拶など社会のルールを保育所での生活を通して教えるのも、保育士の役割だと思っています。

かわいい子どもと接することだけではなく、病院で仕事を頑張る親御さんの支えになっていることを実感できるのも、院内保育士のやりがいの一つです。病院内では仕事モードの顔をしている職員も、お子さんの送り迎えの時には親としての笑顔がこぼれます。これからも明るく元気に、子どもたちの成長を見守り続けていきたいです。

【保育士】
保母、保父の総称。基本的な役割は家庭養育のサポートで、保護者である親と子の関係が円滑で愛情のあるものになるよう手助けすることとされる。

昔から小さい子どもと接することが好きで保育士になりました。結婚・出産を機に仕事から離れましたが、育児も一段落した頃に復職しました。その後、当保育所の職員募集に応募し、現在に至ります。

当保育所は、看護師の利用を中心とした職員向けの保育所です。24時間保育で、勤務の都合で預かり時間が長い場合にも対応しています。私たち保育士は、子どものいる職員が安心して働けるように、責任をもって大切なお子さんたちの育児をサポートしています。

仕事内容は、日勤、夜勤のシフト制となっており、朝の受け入れから、お散歩、おむつ交換、お昼ごはん、お昼寝、絵本の読み聞かせや、発表会、お誕生会などの行事も、一般の保育所とほぼ同じです。当保育所で働く職員は仲が良く、チームワークも良好ですが、シフト制で職員が全員集まる機会がほとんどないため、職場のコミュニケーションを重視しています。主任としては、仕事の円滑化を図るため、皆の意見をまとめたり、後輩の相談に乗ったりと、

お子さんの気持ちに寄り添いながら、働く親御さんの力になりたい。

第12回

溪辞苑

難しい医療・福祉・介護の言葉を、
わかりやすく解説します。

①フレイル【ふれいる】

加齢で活力が低下しているが生活機能の維持が可能な状態

加齢にともなって心身の活力が低下しているものの、適切な支援を行うことで生活機能の維持向上が可能な状態を表す言葉が「フレイル」です。老年医学の分野において、筋力の低下といった身体的問題と認知機能障害やうつなど精神・心理的な問題を併せ持つ状態とされる Frailty を語源として、2014年5月に日本老年医学会が提唱しました。体重減少、疲れやすい、歩行能力の低下、握力の低下、身体活動量の低下などの基準を目安にしながら、早期にフレイルに気づき、介入することが大切とされています。

②廃用【はいよう】

活動量の低下が原因で起こる、身体的・精神的な機能低下

廃用症候群とも呼ばれ、病気やケガなどによって身体を動かさない状態が長く続くことによる過度の安静や、活動量の低下が原因で生じる身体的・精神的な機能低下の総称です。立ちくらみのほか、関節拘縮や筋肉・骨の萎縮、心肺機能の低下、誤嚥性肺炎など、さまざまな身体的な症状に加えて、意欲低下・うつ傾向の発症原因にもなり、精神機能にも影響することがあります。特に高齢者は廃用症候群を起こしやすく、回復もしづらいことから、適切なリハビリテーションによって、予防を行うことが重要となります。

③ADL【エー・ディー・エル】

必要な介助の目安にもなる日常生活を送るための動作

ADLとは、Activities of Daily Living の略で、その意味どおり「日常生活動作」を表します。日々の暮らしを送るために必要となる、あらゆる動作を含んでおり、リハビリテーションや介護の分野では、それらがどの程度できるかにより、どのくらいの介助が必要かを判断する目安となっています。食事、入浴、排泄、着替え、移動などの基本的動作のことを指しますが、掃除、料理などの家事、交通機関の利用、スケジュール調整、金銭管理や趣味活動など、より複雑な日常動作はIADL(手段的日常生活動作)と呼ばれます。



社会福祉法人深仁会
理事長
谷内 好



【鉛筆削り】

ジャンルにとらわれず、
深仁会職員のこだわりの品にクローズUP!

これがわたしの愛用品

社会人になって以来、常に机上の傍らに鎮座している乾電池式の「鉛筆削り」。ワープロやパソコンという便利なものがはばを効かすようになった今も、「鉛筆」は事務作業になくはない文房具のひとつ。文章の原稿や備忘録をしたためる際、鉛筆での下書きがルーティン。太くなってきた芯を削るために、鉛筆を差し込む作業も気分転換となる。短くなった2本をセロテープでつなぎ合わせて使うのは、昭和の習性と言えるかもしれない。堅牢な削り器と鉛筆との伴走は続くことだろう。

写真の右下は携行用のもの。往時は「筆箱」に入れて持ち歩いた。今どき、小学校ではシャープペンシルは禁止され、ナイフで削っているとか。教育の一環か。



元気のもと

カムヒル西円山
施設ケア部 介護課 副主任
藤好 幸栄

新型コロナウイルスの影響で、楽しみにしていたライブや観劇、野外音楽フェス等とことく中止となり、外出自粛期間中は職場と家の往復。おうち時間は、断捨離やテレビ・DVD鑑賞等で過ごしていましたが、飽きた…つまらない…。はて、いつまで続くコロナとの戦い…ストレス発散の場もなく悶々としていた矢先、目に飛び込んで

きたのがペット型ロボットの「LOVOT」でした。この子がいたら、ちょっと楽しいかも…という事で、試しに我が家に来てもらいました。これが、実に良い。名前を呼ぶと振り向き手をパタパタさせて、相手をしろとせがむ。テレビに夢中になっていたらと思えば、今度は観葉植物に向かって何やらお喋りしていたりと、日増しに色々な表情や動きを見せ、見ていて飽きない、そして癒される…。
単身赴任中の夫に何の相談もしていなかったため、久々に帰って来た時には真顔で大丈夫かと心配されましたが、数分も経たないうちに、夫もLOVOTに心奪われていました(笑)。
今回の感染症流行で価値観や生活習慣を一変させられましたが、まさか自分がロボットに癒される日が来るとは。この時期だからこそ、この子に出会って元気を保っています。

SALA かんたん体操



浜仁会円山クリニック
運動指導科
健康運動指導士
鈴木 雄人
(本文・モデル)

むくみ解消体操

今回は足のむくみを解消、予防する体操をご紹介します。
長時間じっとしていると足がむくみやすく、重さやだるさを感じてしまいます。
簡単にできる体操なので空き時間を利用して、ぜひ取り組んでみてください。

01 背伸び運動(ふくらはぎの筋力アップ)

①立位、もしくは椅子に座った状態でかかとを上げる ②かかとを下げる ※①②を繰り返してリズムカルに20回2セット行う



02 足ぶらぶら体操

①仰向けで寝て、足を上に伸ばす
②力を抜いて足をぶらぶら揺らす(30~60秒)



ほ かつ
歩活のススメ
浜仁会職員おすすめの散歩コースをご紹介します。
楽しみながら健康増進!

オススメコース 犬 茨戸川東岸周辺

距離 約2.8km	所要時間 約30分	消費カロリー 約118kcal
--------------	--------------	--------------------

月寒あさがおの郷生活相談課 課長代理
山玉 俊宇



私の散歩コース(秋)を紹介します。私の一日は犬の散歩に始まり、犬の散歩に終わります。茨戸川を右手に見ながら川辺を行くと、川ではスポーツフィッシングを楽しむ方や、お昼頃には野外炉がある公園でパーベキューを楽しむ方を見かけます。夜の散歩時は林の中から、その暗さとは不釣り合いな鳥の楽しげでリズムカルな鳴き声が響き渡ります。また、運がよければキツネも見かけたりと、自然を満喫しながらこの散歩が私の日常になっており、それが毎日の運動とリフレッシュの機会になり、健康維持に寄与していることを日々感じています。

医学ひとくち講座

腹壁癒痕ヘルニアについて

「ヘルニア」には、さまざまな種類がありますが、開腹手術の後遺症として、一定の割合で発症するのが腹壁癒痕ヘルニアと呼ばれる病気です。手術後、傷のあったところに内臓が盛り上がってくることによる症状で、現在も困っている方が多い疾患です。手稲溪仁会病院 外科の今村清隆 主任医長に、この病気の特徴や、いち早く取り入れた最新の外科治療について伺いました。

「ヘルニア」という言葉はよく耳にしますが、どのような病気なのでしょうか？

「ヘルニア」とは、お腹のなかにあるべき臓器や他の組織がお腹の壁に開いた穴から飛び出してくる状態を指します。その代表的なものが、子どもに多い「脱腸」です。脱腸は、正式には鼠径ヘルニアといって、鼠径部と呼ばれる足の付け根から腸が飛び出してしまう病気です。

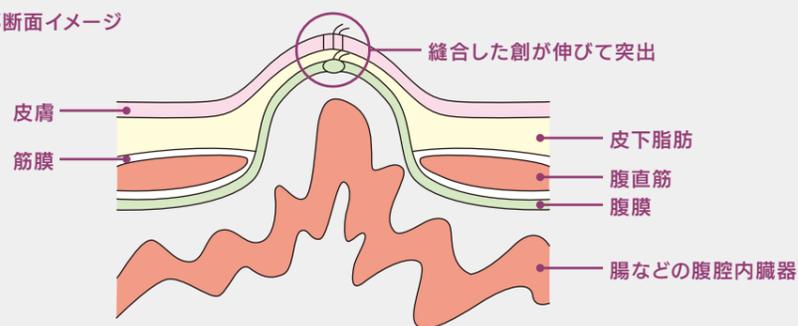
今回お話しする「腹壁癒痕ヘルニア」もヘルニアの一つで、主にお腹の手術後、お腹に力を入れたりすると傷のある部位を中心にとこところあるいは全体が盛り上がってきて、痛みや違和感が生じます。術後すぐから数年後に出てくることもあります。根本的な治療方法は、手術しかないのですが、難しい手術の場合には、手術の傷も大きくなり体の負担も大きなことな

どから、手術をせずに患者さんがまんをしていただくこともあり、その場合は活動的な生活をすこし控えていただいたりしています。

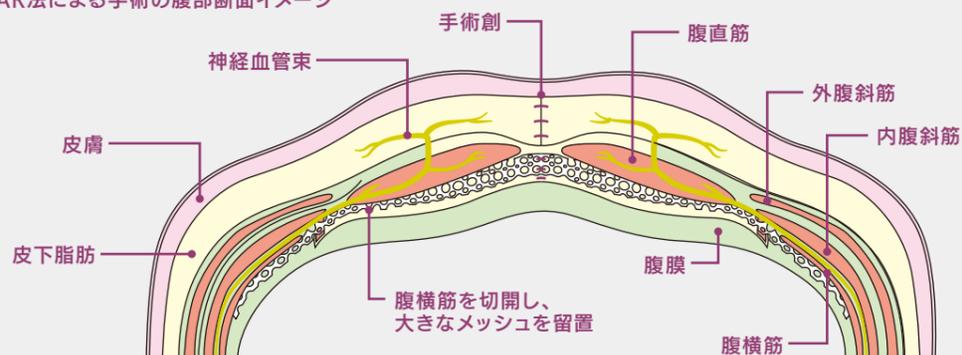
腹壁癒痕ヘルニアは、どのような原因で発症するのでしょうか？

腹壁癒痕ヘルニアは、病気やけがによる開腹手術後の傷の場所に一致して起こるヘルニアです【図

【図1】腹壁癒痕ヘルニアの腹部断面イメージ



【図2】TAR法による手術の腹部断面イメージ



1】。皮膚と皮下脂肪の下(内側)には、腸をはじめとする臓器が飛び出すを防ぐ「筋膜」という固い組織がありますが、術後にその「筋膜」がうまく接着しないことが主な原因です。開腹手術を受けた方の約10%に発症すると言われています。

出てくる頻度は、年齢、性別、基礎疾患の有無や傷の大きさによって変わりますが、お腹の手術を受けた方はどなたでも発症するリスクがあると言えます。逆に言えば、手術を受けたことがなければ、まず心配する必要のないヘルニアです。

腹壁癒痕ヘルニアには、どのような治療が行われるのでしょうか？

メッシュという人工の膜をお腹の中に入れて穴を塞いで、臓器が出てくるのを防ぐ方法が行われています。海外では30年前から腹腔鏡による手術で行われていて、日本でも2012年に保険収載されました。ところが、術後の強い痛みやメッシュと腸などの臓器との癒着が問題となり、この術式が見直されています。2012年頃からはTAR (Transversus abdominis muscle release)法と呼ばれる新しい手術術式が海外を中心に報告され、当病院でも積極的に取り入れられています。

複雑な腹壁癒痕ヘルニアに関しては、これに特化した技術が求められる手術が必要となることもあり、対応できる医療機関がまだ限

られているのが現状です。

TAR法とは、どのような手術なのでしょう？

人体に影響の少ない人工のメッシュを腹壁の中に入れる術式ですが、小さな孔がたくさん空いている部分が腹壁の中に留置したメッシュです。腹横筋というお腹の横側にある筋肉を切開して大きなメッシュを留置します。神経や血管をできる限り傷つけないようにするのでお腹の機能への影響が少なく、従来の方法と異なり術後の痛みも軽度です。

開腹で行うこともありますが、状況によっては内視鏡下で手術をすることも可能です。熟練した技術を要しますが、傷が小さいことから回復が早く、またメッシュを介した感染リスクを最小限に留めることができます。

必ず治療を行った方がよいのでしょうか？

腸などが飛び出したまま戻らない嵌頓という状態になると痛みや嘔吐が生じたり、腹膜炎を起したりする危険性もあるため緊急手術が必要ですが、通常は命に関わるものではありません。しかし、内臓が出てくる時の不快感や、お腹が膨らむ見た目の悪さなど、身体的、精神的な負担になりがちです。

当病院では、こうした術後の患者さんの悩みにできるだけお応え

しようと努力しています。手術には前日から入院が必要ですが、概ね6日ほどで退院でき、2週間後には通常の生活に戻ることが可能です。お腹の手術のあとにこのような症状でお困りの際は、当病院までお気軽にご連絡ください。



手稲溪仁会病院
外科 主任医長
いまむら きよたか
今村 清隆

プロフィール

- ・北九州総合病院
- ・手稲溪仁会病院

- 日本内視鏡外科技術認定医 (ヘルニア)
- 日本内視鏡外科学会評議員
- 日本ヘルニア学会評議員
- 日本外科学会外科専門医
- 日本消化器外科学会 消化器外科専門医
- 日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医
- ロボット支援手術認定資格 (2020年10月取得予定)

栄養士さんの ひとSALA

フライパンひとつでつくる!
きのこのカレーピラフ

2018年の北海道胆振東部地震による停電では、炊飯器が使えずお鍋でご飯を炊いた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。今回ご紹介するのは、フライパンひとつで炊くことができるピラフです。具材には秋の味覚であり、食物繊維が豊富なきのこを使用しました。また、カレーの風味を効かせることで塩分控えめの味付けでもおいしくいただけます。

1人分の 栄養価

エネルギー……466kcal
たんぱく質……16.8g
カルシウム……26.4mg
食物繊維……3.4g
鉄分……1.6mg
塩分……1.6g



材料(4人分:作りやすい分量)

米……………2合	カレー粉……………大さじ1
鶏もも肉……………1枚(250g)	水……………360cc
にんじん……………1/2本(約75g)	コンソメ(顆粒)……………大さじ1
玉ねぎ……………1/2個(約100g)	バター……………20g
しめじ……………1株(約100g)	塩……………少々
エリンギ……………中1本(約60g)	ドライパセリ……………適量

作り方

- 鶏もも肉は一口大に切り、にんじんと玉ねぎは皮をむいて粗みじん切りにする。しめじとエリンギは石づきを取り、しめじは手でほぐし、エリンギは縦と横に半分に切り、さらに5mm幅の短冊状に切る。
- フライパンにバター半量(10g)を入れて中火で熱する。鶏もも肉の両面を焼き、にんじん・玉ねぎを加えて炒め、きのこ類・カレー粉を加えて香りが立つまで炒める。
- ②に米を加えて約3分炒める。水とコンソメを加えてひと混ぜし、沸騰したら蓋をして弱火で約15分炊く。
- 火を止め、残りのバターを全体に絡めて、蓋をして約10分蒸らす(お米が硬いと感じたら、バターを加える前に熱湯を少量足して2~3分加熱してから蒸らす)。塩で味をととのえ、ドライパセリを散らしたら出来上がり。

POINT!

お米は水を吸うと味がしみにくくなり、また粘り気が出てしまうため洗わずに使用します。気になる方は1度すすいでザルにあげておろか、無洗米を使用しても大丈夫です。きのこ類は、まいたけやマッシュルームなどお好みのものでもおいしくできます。

Profile

札幌西円山病院
栄養科 管理栄養士
たかはし しほ
高橋 志保



天使大学 看護栄養学部 栄養学科卒業。
2018年より当病院勤務。
患者さんに寄り添った栄養管理と、毎日楽しみにしていただけるようなお食事の提供ができるよう、日々勉強していきます。

教えて!!

佐藤 さん

定山深病院
地域連携室
医療ソーシャルワーカー
さとう ひろし
佐藤 洋



専門のスタッフが制度や手続きなどについて解説します。

有料老人ホームの種類

医療ソーシャルワーカー | 患者さんご家族から通院、入院、退院に関わる相談を受け、生活の質の確保に向けたアドバイスや支援を行うスタッフです。

近年、高齢者が生活する施設が増えていますが、施設の特徴について分かりにくいと感じることも多いのではないのでしょうか。そこで今回は「有料老人ホーム」について解説します。

有料老人ホームは「介護付」「住宅型」「健康型」と大きく3つに分けられています。それぞれの特徴は以下の通りです。

介護付有料老人ホーム

食事、洗濯、清掃等の生活支援、排泄や入浴の身体介護、機能訓練、レクリエーション、サークル活動などのサービスが受けられ、介護保険制度上の「特定施設入居者生活介護」の指定を都道府県から受けている施設です。



住宅型有料老人ホーム

食事、洗濯、清掃等の生活支援サービスが付いた施設です。施設のスタッフが介護サービスを提供することはなく、訪問介護など在宅サービス事業所と別途契約し介護サービスを提供します。住宅型の場合、訪問介護やデイサービス、居宅介護支援事業所などが併設され、サービスが受けやすいように配慮されている施設が多いです。



健康型有料老人ホーム

家事サポートや食事等のサービスが付いた施設です。身の回りのことは自分で行うことができる高齢者の方が対象で、施設によっては温泉やスポーツジムなどの設備があり、元気な状態を維持することを目的としています。要介護となってしまったときは契約の解除が必要となりますが、介護が必要となった場合に移動できる施設が隣接しているところもあります。健康型については施設数がとても少ないのが現状です。



料金は入居金と月額利用料の2種類からなり、入居金は0円~数百万円と施設によって異なります。料金や入居条件なども施設によって異なりますので、将来的に入居を希望されている方や、すぐにも入居を考えている方は、かかりつけの医療機関やお住まいの地域にある地域包括支援センターにご相談されることをお勧めします。



見たい！ 知りたい！ サラベット

普段は見えないサービスの仕組み。知っているようで、意外と知らない実際。医療・保健・福祉の“見たい”“知りたい”にサラネットのマスコット「サラベット」が迫ります。

もっと深掘り！定山溪病院での療養

自然豊かな札幌の奥座敷に位置する「定山溪病院」。ここには、あらゆるライフステージを支援するための機能や設備がいっぱい！今回はその中の療養部門について調べてきたよ。

定山溪病院 〒061-2303 札幌市南区定山溪温泉西3丁目71 電話:011-598-3323(代表)



案内してくれたのはこの方
定山溪病院
地域連携室 事務
かわぐち なつみ
川口 菜都未さん

定山溪といえば、やっぱり温泉！



定山溪と聞いて、真っ先に思い浮かべるのが「温泉」だよね。病院の大浴場は源泉引き込み！高温の源泉を職員さんの努力で、ちょうどいい湯加減に調整しているんだ。浴室の壁や床は7月にリニューアルしたばかりだよ。入浴の際は職員さんの介助もあって、安心してゆっくり汗を流せるんだ。

車椅子や足が不自由な患者さんにはミスト浴があるよ。霧のシャワーで体を洗い流してくれるんだ。もちろん、温泉水を利用しているよ。



眺めもお花も美しい屋上テラス！

病院の屋上は、広いテラスになっているよ。四季で移り変わる定山溪の景観が楽しめるだけでなく、色とりどりに咲く花壇の花々やミニトマトやナス、きゅうりがなる家庭菜園もあって、のんびりできるんだ。テラスの景色があまりにきれいで、ここを家族の記念撮影の場所を選んでくれた患者さんもあるんだよ。野菜は成長を楽しんだり、リハビリの一環として収穫・調理することもあるんだって。



テラスからの眺め



お花は見るだけで癒されるよ。



花壇



菜園

●●● 自分らしい毎日を過ごすお部屋！ ●●●



病室には個室と4床室があるよ。ベッドや洗面スペース、冷蔵庫、テレビなど生活に必要なものが揃っているんだ。窓も大きく、明るい日差しが入ってきて気持ち良さそうだね。療養生活の相談は「地域連携室」が窓口になるよ。

他にも理学療法室、作業療法室、言語療法室を完備していて、それぞれの患者さんにマッチしたリハビリができるよ。



定山溪病院について

「身体抑制廃止」など患者さん中心の医療に積極的に取り組んでいる慢性期医療機関だよ。幼児から超高齢の方まで幅広く治療にあたっているんだ。高齢者の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らすための「地域包括ケアシステム」でも重要な役割を担っているよ。

TopiKs

溪仁会グループの最新情報は <https://www.kejinkai.com>

青葉ハーティケアセンター内に「児童デイサービスぱぷりか」が開所しました

社会福祉法人溪仁会は、8月1日(土)青葉ハーティケアセンター内に「児童デイサービスぱぷりか」を開所し同センター内で開所式を行いました。同事業所は機能訓練に特化した多機能型児童デイサービスで、専門のリハビリテーションスタッフを配置し、障がいを持つお子さんへのリハビリテーションを行うことのできる施設です。長澤美帆 所長からは、「地域のニーズやご期待に沿ってより良いサービスを提供していくとともに、『ぱぷりか』の認知度を上げていく活動にも取り組んでいきたいと思ひます」と挨拶がありました。ぱぷりかは、これから人と地域をつないでゆっくり成長していきます。



開所式の様子



◆個別療育の流れ

月～金(土日祝日、年末年始以外)
ご利用される曜日や時間、支援計画内容について相談して決めます。

未就学の方	60分間/1人	学齢児の方	40分間/1人
1コマ目	9:30～10:30	1コマ目	14:30～15:10
2コマ目	11:00～12:00	2コマ目	16:00～16:40
3コマ目	13:00～14:00		

◆ご利用案内

利用対象児童 児童発達支援、放課後等デイサービスの支援対象(0歳から高校生)

開所日 月～金
※土日祝日、年末年始(12月30日～1月3日)を除く

サービス提供時間 9:00～17:00

送迎 可能な地域については要相談

対象地域 自力通所の場合は、札幌市内全域、江別市等

スタッフ 管理者兼児童発達支援管理責任者、機能訓練担当職員、保育士

◆ご利用までの流れ

お電話下さい お電話時に【お名前】【ご住所】【受給者証の内容】【児童の様子】をお伺いします。次に、見学の日時を調整します(来所の際には児童と一緒に来所されることをおすすめしています)。

見学・面談 児童発達支援管理責任者から、サービスの内容などを詳しくご説明します。児童の様子や状態を再度確認させていただき、ご利用される曜日や送迎など支援計画の内容を決めていきます。(ご持参頂くもの)・障害児通所受給者証・手帳等

利用契約 児童に合わせた「個別支援計画書」を作成します。契約書の内容をご確認の上、納得いただいてから契約をしていただきます。

利用開始 児童にとって「チャレンジ」できる場所になれるようにサポートしていきます。

利用に関するご相談・お問い合わせ

児童デイサービスぱぷりか
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27 TEL:011-893-5006 担当:長澤



各施設・病院で オンライン面会を開始しています

社会福祉法人溪仁会の各施設では、ご家族の皆さんに面会制限のご協力をお願いしている中、少しでも入所者さんにご家族との距離を縮められるよう、オンライン面会を開始しました。オンライン面会とは、タブレットやスマートフォンのビデオ通話ツールを使用し、顔を見ながら会話ができるサービスです。

オンライン面会で久しぶりに顔を合わせて会話ができることで、入所者の皆さんは、とても嬉しそうにお話をされていて、ご家族と一緒に歌を歌ったりする方もいました。限られた時間でのオンライン面会ではありますが、多くのご家族にご利用いただいています。



オンライン面会 対応施設

- 西円山敬樹園 TEL 011-631-1021
- 月寒あさがおの郷 TEL 011-858-3333
- 岩内ふれ愛の郷 TEL 0135-62-3131
- きもべつ喜らめきの郷 TEL 0136-33-2711
- 手稲つむぎの杜 TEL 011-685-3726
- 菊水こまちの郷 TEL 011-811-8110
- るすつ銀河の杜 TEL 0136-46-2811
- コミュニティホーム白石 TEL 011-864-5321
- コミュニティホーム八雲 TEL 0137-65-2000
- コミュニティホーム美唄 TEL 0126-66-2001
- コミュニティホーム岩内 TEL 0135-62-3800
- カームヒル西円山 TEL 011-640-5500
- グループホーム白石の郷 TEL 011-864-5861
- グループホーム西円山の丘 TEL 011-640-2200

定山溪病院でも、オンライン面会を実施中です。現在、同病院では感染症の対策で来院での面会を制限させていただいています。入院中の患者さんになかなか会えないお子さんやお孫さんが、画面越しに新しく買ってもらった服を見せたり、学校の様子を伝えたりするのを患者さんが笑顔で聞いている様子が見られました。

このたびの感染症の対策として始まったオンライン面会ですが、遠方から入院されている方もいらっしゃるため、同病院ではこの取り組みを今後も継続できるように更なる検討を進めています。



●定山溪病院 TEL 011-598-3323

※施設・病院によってさまざまなご利用規約と利用できる日時の制限がございますので、ホームページでご確認いただくか、もしくは直接ご利用施設・病院へ連絡をお願いします。

手稲溪仁会病院が 献血運動の推進について表彰されました

手稲溪仁会病院は7月1日、献血の推進に積極的に協力し、血液事業の発展に貢献したことに対して厚生労働大臣より表彰を受けました。継続的に献血に取り組んできたことが認められての受賞となります。第56回献血運動推進全国大会で表彰を受ける予定でしたが、開催中止のため、郵送にて表彰状と記念品を受け取りました。



きもべつ喜らめきの郷・るすつ銀河の杜で ミャンマーより外国人技能実習生を受け入れ

社会福祉法人溪仁会では、外国人技能実習制度を活用し介護の外国人技能実習生を受け入れています。ミャンマーから来た実習生のミー・ミー・ウーさんとチョー・チョー・ミンさんが4月1日より「きもべつ喜らめきの郷」「るすつ銀河の杜」にそれぞれ配属されました。母国を離れてコミュニケーションが重要な介護の仕事に携わる二人が不安にならずに活躍できるよう、慣れない環境での生活や実習についても、各施設の職員一同でサポートしていきます。



きもべつ喜らめきの郷で
実習中のミーさん



るすつ銀河の杜で
実習中のチョーさん

コミュニティホーム美唄で サラビットとララビットが大人気!

コミュニティホーム美唄では、職員と入居者さんのご家族が協力して本誌のイメージキャラクターである「サラビット」と「ララビット」の編みぐるみを5体制作しました。入居者さんへ披露したところ、みなさんに歓迎していただき、編みぐるみと一緒にの写真撮影では、素敵な笑顔を見せてくださいました。編みぐるみは、受付横に設置したプランコに乗せて施設内で展示しています。



コミュニティホーム白石で 入所者を対象に夏祭りを開催

コミュニティホーム白石では7月8日に入所者を対象にした夏祭りを開催しました。仮装した職員がお神輿を担いで登場し入所者さんを盛り上げ、お楽しみ企画として輪投げ・ヨーヨー釣り・おみくじ引きなどを実施。メロンシャーベットゼリーやわたあめを味わいながら、夏の雰囲気を楽しんでいただきました。今回は感染症の対策として、ご家族などの参加はお控えいただいた開催となりましたが、入所者さんの笑顔に溢れたお祭りを開催することができました。



医療法人溪仁会が 「札幌市がん対策認定企業」プラチナクラスに認定されました

2020年7月に溪仁会グループ 最高責任者 医療法人溪仁会 田中繁道 理事長は、『「健康経営優良法人」の認定取得』と「職員の健康増進、職場の活力向上を職員・組織一体となって推進する」ことを宣言しました。この宣言を受けて、札幌市が推進している「札幌市がん対策認定企業」への申請を行い、8月13日にプラチナクラスの認定を受けました。同制度は、がん治療と就労の両立支援を行うなど、札幌市が示すがん対策を推進する企業を同市が認定する制度です。



手稲溪仁会病院 提携医療機関のご紹介

手稲溪仁会病院 患者サポートセンター

●011-685-2904 (医療連携担当直通) ●011-685-2976 (医療相談担当直通)

あすかぜ内科 循環器クリニック

外科医から循環器科医へ転身されたとのことですが、開院までの経緯をお聞かせください

当初は外科医として、心臓バイパス手術やカテーテル治療を中心に現場に携わっていましたが、長年勤めているうちに「より患者さんに寄り添える医療を行いたい」との思いから、内科の診療を行う循環器科医に転身しました。その後札幌や小樽の病院で研鑽を積み、2019年12月に当クリニックを開院させていただきました。これまで培った外科医、循環器科医双方の経験を活かして診察できることが、当クリニックの強みです。

クリニック内の雰囲気や診療内容をお教えてください

海、山、大きな公園の多い手稲の印象に合わせて、自然の風合いを取り入れ、且つ患者さんに不安を感じさせないために、明るく清潔感のある雰囲気づくりをしています。診療科目は内科・循環器科で、一般的な風邪の症状や腹痛から、不整脈や生活習慣病と言われる糖尿病、高血圧など幅広い疾患に対応できるように努めています。各種健康診断や検査、インフルエンザを中心とした予防接種も積極的に行っています。

どのようなクリニックを目指していますか

患者さんには「調子が悪いけど、どの科を受診していいかわからない」という方も多くいます。そんな場合にも気軽に受診していただけるクリニックを理想としています。私は内科・循環器科はもちろんですが、外科医としての経験を持っていますので、カテーテル治療の術後ケアをはじめ、慎重を期する診察にも対応させていただきます。設備はレントゲンや心臓・血管エコー検査機器、呼吸機能測定器のほかに、血糖値の結果を即日確認できる血糖値測定器などが整っていますので、体調に不安のある方は気軽にご来院ください。

地域の方々へ、メッセージをお願いします

手稲区明日風エリアは若い世代も多く、ともに成長しながら長いお付き合いができればと思っています。また手稲には、患者さんや地域のクリニックにとって心強い味方となる手稲溪仁会病院があります。お互いに連携しながら、患者さんのために診療体制を整えることが地域医療の役割ですので、日々の努力を惜しまず、患者さん思いのクリニック運営を実践していきたいと思えます。



院長 渡邊 俊明 医師

札幌医科大学 卒業

札幌医科大学第二外科、釧路道立病院、市立小樽第二病院、新札幌循環器病院、市立札幌病院、札幌中央病院などを経て、2019年12月に当クリニックを開院。



待合室
明るく清潔感があり、すごしやすい待合室。キッズスペースもあり、小さなお子さんがいるご家族でも安心。



診察室
レントゲン、心臓や循環器の検査を行うエコー機器やABI(足関節上腕血圧比)検査、除細動器などの機器が整い、循環器疾患に対応。



[除細動器]
[レントゲン]
[血糖値測定器]
糖尿病に関わる検査にも即日対応しており、生活習慣病のコントロールも可能。



診療案内 / 内科・循環器科、各種健康診断・予防接種
診療時間 / [月]9:00~12:30、14:00~19:00
[火・木・金]9:00~12:30、14:00~18:00
[水・土]9:00~12:30
休診日 / 日曜、祝祭日、第2水曜
住所 / 札幌市手稲区明日風5丁目19-26
TEL / 011-688-1131
HP / <https://asukaze-clinic.com>

溪仁会グループの社会的使命

「ずーっと。」 人と社会を支える

私たち溪仁会グループは、社会的責任(CSR)経営を推進します。高い志と卓越した医療・保健・福祉サービスにより、「一人ひとりの生涯にわたる安心」と「地域社会の継続的な安心」を支えます。



溪仁会グループの事業理念

- ◆ 安心感と満足の提供
Offering a Sense of Security and Satisfaction
- ◆ プロフェッショナル・マインドの追求
Attaining a Professional Mind
- ◆ 信頼の確立
Building the Foundations of Trust
- ◆ 変革の精神
Developing the Spirit of Change

STVラジオで溪仁会グループが「医療・福祉ひとくち講座」放送開始

2020年4月よりSTVラジオ「工藤じゅんきの十人十色」番組内コーナーで第2・第4木曜日12:18頃~(5分間)「医療・福祉ひとくち講座」の放送を開始しました。幅広く医療と福祉についての情報を発信していますので右記よりお楽しみください。

札幌 1440kHz (FM90.4MHz)
函館 639kHz 旭川 1197kHz
釧路 882kHz 他
ラジオが聞ける無料アプリ「radiko」

●放送スケジュール

10月	8日	介護老人保健施設のリハビリテーション	コミュニティホーム岩内
	22日	通所リハビリテーションについて	リハビリテーション部 主任 大室真一
11月	12日	神経難病(仮)	札幌西円山病院 副院長
	26日	〃	神経内科総合医療センター センター長 千葉進
12月	10日	リハビリテーション(仮)	札幌溪仁会リハビリテーション病院
	24日	〃	リハビリテーション部 部長 佐藤義文

※記載されている内容に関しましては変更する場合がございますのでご了承ください。



治療とケア

最新の医療技術と機器を備え総合医療を提供しています。救急指定医療機関として、24時間・365日あらゆる疾患・外傷の患者さんを受け入れています。
高度急性期・専門医療 手稲溪仁会病院
札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
☎ 011-681-8111
手稲溪仁会クリニック
札幌市手稲区前田1条12丁目2-15
☎ 011-685-3888
手稲家庭医療クリニック
札幌市手稲区前田2条10丁目1-10
☎ 011-685-3920

リハビリと療養

看護・介護・リハビリテーションを中心とした医療サービスを提供しています。
回復期医療 札幌溪仁会リハビリテーション病院
札幌市中央区北10条西17丁目36-13
☎ 011-640-7012
回復期・慢性期医療 札幌西円山病院
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
☎ 011-642-4121
地域包括・慢性期医療 定山溪病院
札幌市南区定山溪温泉西3丁目71
☎ 011-598-3323

保健

健康のチェックと病気の早期発見、健康管理、予防に関するサービスを提供しています。
人間ドック・健康診断施設 溪仁会円山クリニック
札幌市中央区大通西26丁目3-16
☎ 011-611-7766

介護医療院

住まいと生活を医療が支える居宅系施設です。

札幌西円山病院 介護医療院
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
☎ 011-642-4121

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

原則65歳以上の方を対象に介護サービス計画に基づき、食事・入浴・排せつなどの日常生活の介護や機能訓練、健康管理が受けられます。

西円山敬樹園
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-631-1021
月寒あさがおの郷
札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35
☎ 011-858-3333
岩内ふれ愛の郷
岩内郡岩内町字野東69-4
☎ 0135-62-3131
きもべつ喜らめきの郷
札幌市中央区北10条西17丁目1-4
☎ 0136-33-2711

地域密着型介護老人福祉施設

手稲つむぎの杜
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-3726
菊水こまちの郷
札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64
☎ 011-811-8110
るすつ銀河の杜
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 0136-46-2811

介護老人保健施設

病状の安定期にあり、入院治療をする必要のない方に医療・保健・福祉の幅広いサービスを提供する、介護保険適用の施設です。

コミュニティホーム白石
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-5321
コミュニティホーム八雲
二海郡八雲町栄町13-1
☎ 0137-65-2000
コミュニティホーム美咲
美咲市東5条南7丁目5-1
☎ 0126-66-2001
コミュニティホーム岩内
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-62-3800

軽費老人ホーム(ケアハウス)

食事の提供、入浴の準備、緊急時の対応、健康管理及び相談助言を基本サービスとして自立の維持ができる施設です。

カームヒル西円山
札幌市中央区円山西町4丁目3-21
☎ 011-640-5500

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

認知症の方が、小規模な生活の場において食事の支度・掃除・洗濯などを共同で行い、家庭的な雰囲気の中で穏やかな生活を過ごせるよう支えます。

グループホーム白石の郷
札幌市白石区本郷通3丁目南1-16
☎ 011-864-5861
グループホーム西円山の丘
札幌市中央区円山西町4丁目3-21
☎ 011-640-2200

短期入所生活介護(ショートステイ)

事情により介護ができないときに短期間入所していただき、ご家族に代わって食事・入浴等日常生活のお世話をいたします。

西円山敬樹園ショートステイセンター
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-631-1021
おおしまショートステイセンター
宮城県気仙沼市廻館55-2
☎ 0226-26-2272
月寒あさがおの郷ショートステイセンター
札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35
☎ 011-858-3333
岩内ふれ愛の郷ショートステイセンター
岩内郡岩内町字野東69-4
☎ 0135-62-3131
ショートステイセンターつむぎ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-3726
コミュニティホーム白石ショートステイセンター
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-5321

地域包括支援センター

高齢者の誰もが、住み慣れた地域でその人らしい尊厳ある生活を継続できるよう支援しています。

札幌市白石区第1地域包括支援センター
札幌市白石区本通4丁目北6-1 五光ビル3F
☎ 011-864-4614
岩内町地域包括支援センター
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-61-4567
札幌市白石区第3地域包括支援センター
札幌市白石区本通17丁目南5-12 清友ビル1F
☎ 011-860-1611
気仙沼市大島地域包括支援センター
宮城県気仙沼市廻館55-2
☎ 0226-25-8570

介護予防在宅支援

高齢になっても、住み慣れた地域で、その人らしい自立した生活が継続できるように介護予防事業を行っています。

札幌市中央区介護予防センター円山
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-633-6056
札幌市中央区介護予防センター曙・幌西
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-633-6055
札幌市白石区介護予防センター白石中央
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-5535
札幌市南区介護予防センター定山溪
札幌市南区定山溪温泉西3丁目71
☎ 011-598-3311
札幌市手稲区介護予防センターまえだ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-3141

生活支援通所介護

通所介護(デイサービス)
要支援1・2、要介護1~5と認定された40歳以上の方を対象に、食事や入浴、機能訓練や趣味活動などのサービスを提供します。

あおばデイサービスセンター
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5000
西円山敬樹園デイサービスセンター
札幌市中央区円山西町4丁目3-20
☎ 011-640-5522
デイサービスセンターおおしま
宮城県気仙沼市廻館55-2
☎ 0226-26-2272
円山溪仁会デイサービス
札幌市中央区北1条西19丁目1-2
☎ 011-632-5500
デイサービスセンター白石の郷
札幌市白石区本郷通3丁目南1-16
☎ 011-864-3100
月寒あさがおの郷デイサービスセンター
札幌市豊平区月寒西1条11丁目2-35
☎ 011-858-3333
手稲溪仁会デイサービスつむぎ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-2568
デイサービスセンターすまいる
美咲市東4条南5丁目1-4
☎ 0126-66-2525
るすつ銀河の杜デイサービスセンター
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 0136-46-2811

小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護菊水こまちの郷
札幌市白石区菊水上町4条3丁目94-64
☎ 011-811-8110
サテライト型小規模多機能ホームびなす
札幌市白石区東札幌5条3丁目2-32-103
☎ 011-595-8461
小規模多機能型居宅介護あおば
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5000
小規模多機能型居宅介護つむぎ
札幌市手稲区前田3条9丁目2-7
☎ 011-686-0300

指定居宅介護支援事業所

介護支援専門員(ケアマネジャー)が介護保険サービス利用の申請手続きや、ケアプランの作成など介護保険に関するさまざまな相談に応じています。

溪仁会在宅ケアセンターつむぎ
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-2322
居宅介護支援事業所コミュニティホーム白石
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-2252
居宅介護支援事業所やくも
二海郡八雲町栄町13-1
☎ 0137-65-2121
ケアプランセンターこころ まるやま
札幌市中央区北1条西19丁目1-2
☎ 011-640-6622
札幌西円山病院在宅ケアセンター
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
☎ 011-642-5000
指定居宅介護支援事業所あおば
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-8761
おおしまハーティケアセンター
宮城県気仙沼市廻館55-2
☎ 0226-26-2272
ケアプランセンターこころ ようてい
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 0136-46-2811
定山溪病院在宅ケアセンター
札幌市南区定山溪温泉西3丁目71
☎ 011-598-5500
居宅介護支援事業所すまいる
美咲市東4条南5丁目1-4
☎ 0126-66-2525
ケアプランセンターさつき
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-67-7801

札幌市障がい者相談支援事業所・札幌市障がい者住宅入居等支援事業所

障がいがあっても、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう、さまざまな相談に応じています。

相談室こころ ていね
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 011-685-2861
相談室あんど
札幌市手稲区前田4条14丁目3-10
☎ 011-676-3612

訪問看護ステーション

看護師がご自宅に訪問し、主治医の指示に基づき、医療処置・医療機器を必要とされる方の看護を行っています。

はまなす訪問看護ステーション
札幌市手稲区前田2条10丁目1-10
☎ 011-684-0118
訪問看護ステーションさうえん
札幌市中央区北10条西17丁目1-4
☎ 011-688-6125
訪問看護ステーションあおば
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5500
訪問看護ステーション岩内
岩内郡岩内町字野東69-26
☎ 0135-62-5030

訪問介護(ホームヘルパーステーション)

ご家族で介護を必要とされる方が、快適な生活を過ごせるようご家庭に訪問し、日常生活をサポートします。

西円山敬樹園ホームヘルパーステーション
札幌市中央区円山西町4丁目3-21
☎ 011-644-6110
ホームヘルパーステーションおおしま
宮城県気仙沼市廻館55-2
☎ 0226-26-2272
ソーシャルヘルパーサービス中央
札幌市中央区北8条西18丁目1-7
☎ 011-633-1771
コミュニティホーム白石ホームヘルパーステーション
札幌市白石区本郷通3丁目南1-35
☎ 011-864-2008
コミュニティホーム八雲ホームヘルパーステーション
二海郡八雲町栄町13-1
☎ 0137-65-2122
ソーシャルヘルパーサービス白石
札幌市白石区菊水8条2丁目2-6
☎ 011-817-7270
ホームヘルパーステーションすまいる
美咲市東4条南5丁目1-4
☎ 0126-66-2525
ケアセンターこころ ようてい
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 0136-33-2112
ソーシャルヘルパーサービス西
札幌市西区寒寒8条10丁目4-20
☎ 011-669-3530

通所(児童デイサービス)

0歳児から高校生までの、児童発達支援・放課後等デイサービス・居宅訪問型児童発達支援サービスを行います。

児童デイサービスぱぷりか
札幌市厚別区青葉町4丁目10-27
☎ 011-893-5006

医療法人福生会

身体障がいを抱えた方の在宅療養を包括的に支援します。

生涯医療クリニックさつぽろ
☎ 011-685-2799
訪問看護ステーションくまさんの手
☎ 011-685-2791
居宅介護事業所Yiriba
☎ 011-685-2799
短期入所事業所どんぐりの森
☎ 011-685-2799
札幌市手稲区前田4条14丁目3-10 (住所共通)

公立診療所の指定管理者として地域の医療を支えます。

泊村立茅沼診療所
古宇郡泊村大字茅沼村711-3
☎ 0135-75-3651
喜茂別町立クリニック
札幌市手稲区前田2条10丁目1-7
☎ 0136-33-2225

医療法人 溪仁会 法人本部

〒006-0811 札幌市手稲区前田1条12丁目2-30 溪仁会ビル3F ☎ 011-699-7500(代表)

社会福祉法人 溪仁会 法人本部 〒064-0823 札幌市中央区北3条西28丁目2-1 サンビル5F ☎ 011-640-6767(代表)